

総括質問

清風クラブ

片倉 章博 議員

市長に問う「選ばれぬまち」をなすため」

問 11の柱、87項目を掲げた市長選挙時のマニフェストについて検証が行われたが、その結果を伺う。

市長 11本の柱のうち、防災活動や地域経済の活性化などを示した10本の柱については、A評価を得た項目が過半数を占め、Aランクの評価を受けた。しかし、「チャンスを活かす都市基盤づくり」の柱では、5項目のうちA評価、B評価、C評価がそれぞれ1項目となり、「評価不能」が2項目となり、ほかと比較すると厳しい評価を受けた。

問 進行中の事業に対する考えを聞きたい。

市長 ツインシティをはじめとしたハードの整備については、しっかりと道筋を

インターネットで本会議が見られます

平塚市議会では、本会議の様子をインターネットで配信しています。開催当日の生中継のほか、会議の終了5日後にはいつでも見られるオンデマンド配信を始めます。平塚市議会ホームページからアクセスしてください。

また、ケーブルテレビでも生中継と当日夜の録画放送を行っています。

12月定例会では、子育て支援策、防災・減災対策、産業活性化策、ツインシティ整備推進事業などに対して17人の議員が質問を行いました。
◆質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています。

ツインシティ整備推進事業

問 県に線引きの見直しを申し出て大神地区を市街化区域に編入する予定だが、スケジュールを伺う。

市長 平成26年度末を目途に市案の申し出を行う予定で進めてきたが、このほど県から、期限を27年6月末とするスケジュール変更の通知があった。引き続き県

校から要望のある箇所の修繕についても順次対応している。

野崎 審也 議員

ひらつかを元気にふるさと納税

問 ふるさと納税の今までの実績や取り組みを伺う。

副市長 平成20・25年度で29件、9873万円の寄付があった。寄付金は美術品の取得、高等学校の就学支援、老人福祉、理科教育の推進などの貴重な財源として活用した。

問 寄付をした方に返礼品を贈ってはどうか。

企画政策部長 返礼に物品を贈る考えはなく、これまで取り組んでいない。

問 積極的に市の名産品などを贈れば、産業の活性化になるのではないか。

産業振興部長 平塚には全

この協議、調整を図る。

問 事業の実施に向けた地権者の同意率の現状を伺う。

都市整備部長 企業にも同意をいただいで、9月よりも面積で10%程度伸びた。

問 本市は駅が一つであることから、中心市街地は平塚市の玄関口であり、本市の顔としての持続可能な発展と、時代に合わせた機能が求められている。中心市街地の高度利用をどのように進めていくのか。

問 国は、経済対策の一環で緊急支援交付金の導入を考えている。消費喚起の施策であるプレミアム商品券事業を今後も実施するのか。

副市長 国の経済対策や景気動向を注視しながら、市商連や商工会議所と連携を密にし、同様の事業の実施を想定した準備を進めたい。

産業振興部長 国の地域振興券の場合は実施主体が市になるので体制を整備し、対応することになる。

問 プレミアム商品券事業の課題は何か。

まちづくり政策部長

中心市街地については、商業環境の充実とともに土地の高度利用による活性化を図る必要があることから、建築物の高さ制限の緩和に関する「都市計画高度地区の運用基準」や「総合設計許可基準」を定め、高度利用を促進している。マンションなどの共同住宅の建設を誘導することで、中心市街地の「街なか居住」が促進される。中心市街地においては、商業、文化、居住、公共施設などの機能が集積した、本市南部の核となるまちづくりを進める。

問 停滞している崇善公民館の整備についての考えは。

市長 できるだけ年度内に方向性を出していきたい。

副市長 登録店舗数の拡大や、本事業に連動した販売促進の取り組みをさらに拡充することである。

産業振興部長 商業活性化のきっかけづくりと捉え、商店が知恵を出し合って顧客を確保していくことが一番大事である。

副市長 登録店舗数の拡大や、本事業に連動した販売促進の取り組みをさらに拡充することである。

副市長 登録店舗数の拡大や、本事業に連動した販売促進の取り組みをさらに拡充することである。

副市長 登録店舗数の拡大や、本事業に連動した販売促進の取り組みをさらに拡充することである。

副市長 登録店舗数の拡大や、本事業に連動した販売促進の取り組みをさらに拡充することである。

副市長 登録店舗数の拡大や、本事業に連動した販売促進の取り組みをさらに拡充することである。

副市長 登録店舗数の拡大や、本事業に連動した販売促進の取り組みをさらに拡充することである。

副市長 登録店舗数の拡大や、本事業に連動した販売促進の取り組みをさらに拡充することである。

副市長 登録店舗数の拡大や、本事業に連動した販売促進の取り組みをさらに拡充することである。

副市長 登録店舗数の拡大や、本事業に連動した販売促進の取り組みをさらに拡充することである。

副市長 登録店舗数の拡大や、本事業に連動した販売促進の取り組みをさらに拡充することである。

議会改革
議員定数
30人→28人
4月の選挙から2減

平塚市議会の議員定数は、平成26年9月定例会において、議員提案により現在の定数より2人減員することが決まりました。4月の統一地方選挙から市議会議員は28人となります。



4月は統一地方選挙

数田 俊樹 議員

魅力ある海岸線へ

問 海岸線エリアを整備することにより、10年、20年後の本市の産業を自覚ましく発展させる可能性が多大にあり、まちのイメージアップを図れる。このエリアを魅力ある空間にするため、国道134号沿いの

問 海岸線エリアを整備することにより、10年、20年後の本市の産業を自覚ましく発展させる可能性が多大にあり、まちのイメージアップを図れる。このエリアを魅力ある空間にするため、国道134号沿いの

問 海岸線エリアを整備することにより、10年、20年後の本市の産業を自覚ましく発展させる可能性が多大にあり、まちのイメージアップを図れる。このエリアを魅力ある空間にするため、国道134号沿いの

問 海岸線エリアを整備することにより、10年、20年後の本市の産業を自覚ましく発展させる可能性が多大にあり、まちのイメージアップを図れる。このエリアを魅力ある空間にするため、国道134号沿いの

問 海岸線エリアを整備することにより、10年、20年後の本市の産業を自覚ましく発展させる可能性が多大にあり、まちのイメージアップを図れる。このエリアを魅力ある空間にするため、国道134号沿いの

問 海岸線エリアを整備することにより、10年、20年後の本市の産業を自覚ましく発展させる可能性が多大にあり、まちのイメージアップを図れる。このエリアを魅力ある空間にするため、国道134号沿いの

問 海岸線エリアを整備することにより、10年、20年後の本市の産業を自覚ましく発展させる可能性が多大にあり、まちのイメージアップを図れる。このエリアを魅力ある空間にするため、国道134号沿いの

問 海岸線エリアを整備することにより、10年、20年後の本市の産業を自覚ましく発展させる可能性が多大にあり、まちのイメージアップを図れる。このエリアを魅力ある空間にするため、国道134号沿いの

問 海岸線エリアを整備することにより、10年、20年後の本市の産業を自覚ましく発展させる可能性が多大にあり、まちのイメージアップを図れる。このエリアを魅力ある空間にするため、国道134号沿いの

問 海岸線エリアを整備することにより、10年、20年後の本市の産業を自覚ましく発展させる可能性が多大にあり、まちのイメージアップを図れる。このエリアを魅力ある空間にするため、国道134号沿いの

2%だと、どれくらいの規模の建物が建てられるのか。
都市整備部長 平均的な規模の道の駅の建物が可能と捉えている。

問 何階建ての建物が建てられるのか。

都市整備部長 都市公園法では特に高さ制限は設けていないが、風致地区条例で第一種風致地区に定められており、高さ制限は8メートルである。

問 湘南海岸公園の駐車場を増設して、大型バスも入れる駐車場にすることは検討しているのか。

都市整備部長 遠方からの多数の観光客を想定しているため、大型バスの駐車場の整備も検討する必要がある。

問 市長マニフェストには「龍城ヶ丘プール跡地は民間活力を取り入れ、道の駅の整備を促進します」と掲げられている。実現に向けた考えを伺う。

市長 漁業、農業、商業、工業、観光が連携して平塚の魅力発信する場としての道の駅は必要である。実現の可能性が湘南海岸公園で本市の魅力発信する場を作ると、具体的な検討段階に入っている。

問 湘南海岸公園の面積の

問 湘南海岸公園の面積の

問 湘南海岸公園の面積の

問 湘南海岸公園の面積の

問 湘南海岸公園の面積の